京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰十行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

北韓だより（四）

▲發稅實施と浦港の關係　北韓に於ける國境貿易の有望なるを記載するに當つて先づ従來に於ける間島及び渾春方面と浦鹽斯德との關係を說く必要がある、之等の關係を說明するには浦港が自由港閉鎖前と後とに於ける貿易狀態一般に就いて述べんに元來浦港は日露戰役に於て自由港となりたれば商況頓みに增進して非常の隆昌を呈するに至り東洋に於ける一大貿易要港の觀を示すに至り日本貨物にし西比利亞及び滿洲遠くは歐洲方面に輸送する貨物は何れも浦港を通過する事となれり而も渾春及び間島方面に至る貨物は一旦浦港に輸入し然る後再び汽船にて露領たるポシット軍港地まで輸送し其れより馬車にて渾春間島方面に輸送するを常とせり浦港より渾春地方に至る貨物は年々二百萬圓を下らず而して之れ等の貨物は何れも日本雜貨、日本木綿、金巾等なり又渾春方面より輸出する貨物は殆んど大豆のみなるも年額平均六十萬圓位なるも之れ等の輸出入其大体に於て浦港の本邦商人の手にて行はれつゝありしなり然るに昨年に於て露國政府は突然浦港自由港閉鎖を斷行したるに依り浦港に於ける本邦商人の打擊を被りたる事は實に甚大なるものにして其れがため破產の悲境に陷りたるもの多數あり、かくの如く浦港に於ける本邦商人が自由港閉鎖後に於て大破綻を被りたるは元來無稅港たりしものが急に有稅港となりたるものなれば從來渾春地方に假りに十圓の價値たりしものが十五圓ならでは支那商人に手渡する能はざる事なれば從つて支那商人も貪鈍りの体となる位ならば未しも幾分命脈を繫ぎ得るも自由港閉鎖後に於て浦港と渾春地方の商人との取引關係は絕緣されて全然貿易皆無の姿と變せりかくの如く商況不通を告げたるは要するに浦港に於ける重課稅に因らずんばあらず即ち浦港と渾春地方の關係や前記の如き有樣となりしなり、斯くの如く浦港との關係絕緣したる渾春商人は漸く北韓商人と取引を開始するに至れり玆に於て多年の宿志たりし國境貿易も光輝を認むるを得たり法律第十九號も之等に因りて發布されたるものと察せらる發稅實施後に於ては二百萬圓の輸入と六十萬圓の大豆輸出とは從來浦港に取扱はれたるものが今後に於て全部北韓に取扱はるゝ事なり然れども淸津港が發稅實施後に於て目下立場より發展するや否は甚だ怪むべき事に屬す何となれば淸津港は港と云ふ點より觀る時は一として價値あるものなし淸津港をして完全なる港灣たらしむるには少なくも二百万以上の經費を要すべし

雜錄

寝られぬ記

雪解け上りの泥濘が厳い寒さで見渡す限り鏡を張つた樣に凍つて仕舞つた其の夕の事である、懐中手の横着を極めた罰は覿面二度が程强か辷繰返つた憤づ腹を堅く閉ぢられた溫突の門扉に當つて凍り切つた耳朶を捻りながら飛び込だ自分の室は眞つ暗だ火の氣に飢ゑた一室の空氣は人の香、蘇み返つた樣に森々と襲つて來る、寒さは一入だ、先づ洋燈をと手近の邊を探つて見たが一向に手に觸れぬ、チョッ〳〵と舌打が二度許り少し自暴自棄の探り手は荒かつたかしてガチャ〳〵と何だか机の上から墜落ちた、最う爛燈は切れ相だ、と云つて眞つ暗の闇の裡で、ぶん〳〵憤つて見た處が何と云ふ事もなしと思つて踏み懸けた体の動搖を支ひた右の手の下にザクッと云ふた音は確か摺附木だ、あゝ在つたと少しは溜飲の下つた心でパッと摺つて見た四邊の光景は又しても强腹の元だ、机から落ちたのは硯箱で筆や墨が其處等中に散らばつて其れ許りなればまだ好い、凍つて好い時には凍りもせぬ墨汁が投げ遣つて在つたホワイトシャツの上にべつたり、今度は舌打が十許りも續いた右の手は何時の間にかシャツに懸つて居る、彼方に引張り此方に引張り洋燈の火影で墨の浸んだ部分を怨めし氣に眺めて見る、困つたな―と貧乏世帯が直に眩かせる、と同時に辷つて轉倒た肱迄が痛み出す、隣りの家で時計が十一時を報つ、此方の溫突ではワン〳〵と憶怯な犬が吠ゐる、不滿ん實に不滿ん孤獨と云ふ者は斯くも要領を得ん者か、と云ふ樣な想ひが偶然と胸に浮んだする、と夫れから夫れにと種んな錯雜した現實の事や想象やらが紛糾して頭腦の中を走り出した、ねゝ儘よ寝ちまへと思つて蒲團を引出して蒐繰込で見たがどうして中々眠りに就けない愈々眼は冴れて想ひは益々湧いて而も浮んで來る物全部が決して碌な物でない、寒い晩に裸体で溶水して見たり、其のまゝ凍つて了つたなれば地獄樣見たいになるだらうなんか云ふ樣な愚にもつかぬ事許りだ隨て二時間許りの後漸く思ひ直て少し眠り懸る、と今度は溫突の底の方で鷄の樣な者の頻りに唸く樣な啼く音が聞れて來た、又寢られぬ、鷄か知ら、鼬か知らまさか蛇ぢやあるまい等と枕を上げて見たり床を叩いて見たり爲てゐる間に二時か鳴り四時が過ぎ最後に眉山全集の六ページ頭を讀み初めた頃には既に障子が明るくなつてゐた（終）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿六日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

◎新刊紹介

●東京經濟雜誌　第一千五百二十一號には社說「政友會の關稅改正方針」「公債及び銀行株の騰貴」「關稅同盟論」等あり講演に阪谷男爵の「伊藤博文公と日本の財政」論說の「免許檢查人設置に就て」（河東田氏）「職工勞働時間に就て」（手島精一氏）等は何れも三讀に値す猶は鹽島鶴城子の田口先生傳等あり其他訪問欄に雜纂欄に讀むべきもの尠からず△一部金十二錢△東京々橋區彌左衛門町七番地其の社

●大阪パック　第四年第廿四號は出でたり相も變らず笑中涙あり惡罵毒舌至らざるなし其の政友會を目していふ、しい亭主に死に別れたる後家世帶となしたるが如きは尤なるもの△一部金十二錢△大阪東區備後町其社

●文庫　第四十卷第四號裝釘例に依つて振はざるも內容之れに反して頗る讀むべし鳴雪先生の廿世紀の俳句六花、松濱二子の選句欵等見るべし△一部定價金十錢△東京府北豐島郡巣鴨町大字上駒込十九番地內外出版協會

●農商工月報　第二卷十二月號出でたり徹頭徹尾例の野依式を學ぶるも未だ至らざる所多し△一部定價金二十錢△發行所東京府下北品川御殿山其社

日本銘刀傳

第六席　邑井一講演

事を分けたる行光の言葉に國光無理にも離緣を求め兼ねて居る折しも、隔ての障子をガラリ引開げ、森川馬之丞　馬「イヤ樣子は此にて殘らず聽いた、聽けば聽く程不埒な娘、斯く許りの孝子五郎を憎くむとは何とも言へぬ惡い奴、婿の行光殿が我等に對しての遠慮から萬事我慢に我慢をされるのを好いことにして付上り、殺害までしやうとは言語道斷、行光殿、御身の力を待つに及ばん、是より歸つて此馬之丞の手に掛けて斷つてしまふ、安心あれ」と又馬表へ飛出し驅けいだす「夫れはならん、れ待ち遊ばせ」と行光と國光夫婦の止むる袖を振拂つて一目散、傍に聽居る五郎は大に驚き「南無三、母樣の大事にこそはなつたれ」と、思はず驅け出す十三の小供ながらも一生懸命、馬之丞の袂の下を搔潜り我が家へ先きにバラ〳〵〳〵　五「れ母さん、れ母さん」秋「何だい、業々しい聲を出して……」五「れ母さん、早くれ逃げなさいまし、今森川のれ祖父さんが貴方を斬りに御出でになります、其處に御出なすつてはれ爲めになりません、早く御立退きを願ひます」秋「何だと……立退げ……妾の家に妾が居るのに、何の不都合はありやアしない、森川のれ祖父さんが妾を斬るなんて、馬鹿々しい」五「太變です、其樣事を言つて居ないで早くれ逃げ下さい」秋「逃げろとは何だ、エヽ其面付が氣に入らぬ、惡らしいわい」と、振上げる物指　五「アレ、御打擲は厭ひませんが……アノ足音はれ祖父さんで……」と云ふ間もあらせず、森川の老体、唐紙押明けて息も絶々汗雫　馬「ヤア、己れ、汝、斯く許りの孝子を憎くびだに惓たらぬに殺害とは底事ぞ、婿行光は我等に對して遠慮と聽いて武士が廢つた、汝の命は俺が貰つた覺悟に及べッ」と、腰を捻つて拔く一刀は、是れも名代の波の平行安、吃驚したれ秋は「眞平御免」と逃出す、五郎は馬之丞の袖にしがみつき　五「御祖父さん、れ母さんをれ助けなすつて下さいまし、れ母さんの命はれ助けなすつて下さいまし、れ刀を鞘にれ納めなすつて……」馬「離せ〳〵、止めてはならぬ」とれ秋の逃げんとするを追掛ける　五「あれ、御免しなすつて……」馬「コレ、止めるな、傍杖うたれて怪我するな」と五郎を突退け往かんとする、天命なるかなれ秋は疊に辷つて頭顛倒、怒立つたる馬之丞、後より一刀を振上げる、五郎は是非母樣を助けなければならん、斯うなるからは是非に及ばん、我が身を殺すより外はないと、五郎は母の上に負被さる、斬下すと一刀、中途で止めることが出來なかつたと見ゑ、れ秋と思ひきや孝子五郎が脊筋の傍を横に一文字、キャッと魂消る其聲に、馬之丞は眼を据ゑて熟く視れば、れ秋にあらで孝子の手負い、是れはと仰天、餘りのことに太刀投捨てる、此方は行光、馬之丞の後を追掛けんとすれば、國光夫婦は抱止め「好いよ斬らしてれしまいよ、女房と疊は新らしいのが好いぢやあないか、斬らしてれしまい」行「馬鹿を言ひねい、其樣な薄情なことが出來るものか」と振拂つて表へ飛出す、國光も續いて飛出し馳付け來る行光、國光　國「ヤア兄イタ、タ、大變だ、ゴ、ゴ、五郎か斬られて居る、タ、タ、大變だ、五郎ヤーイ、五郎ヤーイ、國光だ確かりしろ兄貴早く何とか言つてやれ」行「五郎ヤーイ、五郎ヤーイ、父つさんだ、心を確かに持て……疵は淺い……」五「ハイ、難有うございます私は死ぬかも知れません、れ母さんを助けたい許かりでれ祖父さんに斬られました、れ母さん、能う死んで呉れたと一言云つて下さいまし、夫れが何より冥土の土產、れ親父さんは……」國「オイれ前を探して居るぜ」行「父は此處に居る、疵は淺い、死にやアしねへ、確乎しろ〳〵、れ秋、此位にまで思つて居るのに手前はまだ可愛とは思はぬか」秋「アヽ面目無い、五郎一人を殺してなるものか」と突如親父の刀を取つて咽喉へ突立てんとする。



東京電報

▲兩院奉答文の捧呈

衆議院は昨日奉答文を議決し本日長谷場議長參內闕下に伏して捧呈せり貴族院は本日奉答文を可決し直ちに德川議長參內捧呈の筈(二十五日)

▲薩摩艦の廻航期

橫須賀軍港に於て艤裝中の戰鬪艦薩摩(一萬九千三百五十噸)は工事全部竣成し二月中吳軍港に廻航の筈也(同)

▲第二艦隊の巡航

第二艦隊八雲、沖島、見島、淀の四艦は近日橫須賀を發し小笠原島を經て淸韓を巡航す(同上)

▲堀田子と談話會

子爵堀田正養氏は談話會に入會せり(同上)

▲皇孫殿下御避寒

皇孫迪宮、淳宮、光宮の三殿下は伊豆修禪寺へ御避寒あらせられたり(同上)

歐州電報

▲白國新帝の即位

白耳義國新皇帝アルバート陛下の即位式は無事結了たり(二十四日着)

▲葡國內閣の組織

ポルトガルの新內閣はベイラ氏によりて組織せられたり(同上)

▲希臘形勢の危殆

希臘雅典の形勢は再び急殆に陷り軍隊は召集せられたり(同上)

▲ル國大臣の遭難

ルーマニヤ國務大臣ブラチアーノは虛無黨員に狙擊され輕傷を負へり(同上)

北京電報

▲端方再び彈劾さる

端方は革職後更に某御史より彈劾を受け昨日上諭あり重ねて其罪を問はれたるが這は一に端方が東陵燒香場にて皇太后と瑜妃との燒香爭の現場を撮影せりと皇太后が確信し痛く其擧動を憎くめるに起因すと(廿四日着)

雜報

來年度の新事業

▲附廢止されたる事業▼

來年度に於ける各部の新設事業及廢止されたる事業に就て豫算の費目を締めるに重なるものは左の如し

經常部

▲內部 內部所管に於て來年度の新事業費として計上されたる豫算は總計九十五万六千圓なるが這は警察署十六箇所の增設、日本人郡主事百名の增員、各道に日本人道主事二名宛の增員、水道事業の事務費等に要するものなり

▲度支部 度支部所管の新事業費は合計二十二万七千餘圓にて財務監督局一箇所及び稅關監視所四箇所の增設登記局九箇所の開始、鑛業並に釀造試驗所等に要する調查事業費等なるが外に公債元金償還、國庫豫備金等の減額あるを以て差引前年度に對して百三十一万餘圓の減額を示すに至れり

▲學部 學部所管に於て來年度新たに計上されたる費目は一萬九千八百七十八圓にて學級增加生徒增員等に伴ふ經費なりとす

▲農商工部 所管に於ける新事業費は十四萬四千五百餘圓なるが這は度量衡事業費の增加、地質調查等に關する增員の經費及び漁政費等にて明年よりは載寧及殷栗の鐵山を日本政府に於て經營する筈なれば此費用三十七萬五千餘圓を減じたる故差引二十三萬餘圓の減額を見るに至れり

臨時部

△內部 に於ける明年度臨時費の增加は四万八千餘圓にて水上警備費の增加大韓醫院設備費並に同院附屬醫學校の器具及械費等にて廢止及減少されたる事業費の總高は六十九萬六千餘圓あり治道費、仁川水道工事費年割額の減少、平壤水道工事竣成の爲め全部を要せざるに至りしと其の他の事業が減少されたる爲めにて差引六十四萬八千餘圓を減額したり

△度支部 所管に於ける新設事業は鹽田築造及調查新營設備費既定年割額の增加、韓國銀行及び金融組合補助等の爲めに要する費目四十二萬二千餘圓を增加せしも營繕費、金融組合資金、貸付金臨時財產整理局帝室債務支拂金其他に於て減額するところあるを以て差引五百八十六万一千余圓を減少せり

△學部 實業學校の新設五箇所及び夏期講習會に要する費用五万八千六百圓を增加したるも學校建築費の減少私立釜山日語學校交附金を要せざるに至りし爲め四千餘圓を減じ結局五萬二千五百餘圓の增加を示せり

△農商工部 所管に於ては減少及廢止されたるものなく二十五萬二千餘圓の增加なるが其の重なるものは蠶業獎勵費種苗場二ヶ所の增設輸出牛檢疫場費商工業調查費山林保護費日英博覽會出品費平壤鑛業所營繕費同事業擴張費等の爲めに增加したるものなり

韓國の商標保護

去る八月三十一日駐英獨逸大使メッテルニヒ伯より英國外相グレー氏に宛て若し英國政府にして英國に於て登錄したる獨逸商標が韓國に於て英人の爲めに侵害せられたる場合之を領事裁判に附して獨逸商標を保護するに於ては獨逸政府も韓國に於て英國の商標を保護すべし幸ひに承諾を得ば駐在領事に適宜の訓令を發布すべしと照會ありし英國は越へて十月に至り承諾の旨を復牒し茲に英獨商標保護協約の成立を見るに至りたるは當時報導の如し右に關し我が政府には未た何等の交渉なき由なるも英獨兩國は韓國に治外法權を有するのみならず本邦商人は之が爲め何等拘束を受くるにあらざれば交渉なきも怪しむに足らず近來商標侵害は歐洲にも廣く行はれ英國商人にても注文を受けたる品の持合せなき時は之を外國に注文して英國製との銘を打つて特惠關稅を以て殖民地等に輸入するは珍しからず爲めに物議絕ゆることなければ英獨兩國は韓國に於て早きに及び之が防止策を講じたるものなるべし

地方廳の合併問題

屢々報導せし日韓地方行政廳則ち理事廳及び觀察府の合併問題は愈々過日の地方行政調查委員會に提出せられたる由なるが素より合併の結果土地證明の如き彼我の往復交渉を省略し且つ重複の手數を要するなく又豫算の點に於ても多額の經費を節約し得其他道路消防衛生等の如き一として統一の利益を見ざるなく加之日韓兩國民の現勢は倍々此必要を認めしむる次第なれば孰れも異議のあるべき筈なく先づ其手始めとして京城、仁川、釜山、大邱の如き大都市より實行せらるべく內定せりと聞く而して合併の形式は日韓孰れに包有せしむべきかに就き議論ある由なるも理事廳に併有の說最も勢力ありと云ふ

支出金の大減額

度支部所管金融組合資金其他の「諸支出金」は隆熙三年度に於ては其額七十二万千三百六十一圓なりしが明四年度には約四百五十四万餘圓の減額を示せり其增減の重なるは金融組合資金に於て二十一萬圓西北營林廠費五十四万圓營繕費百三萬三千八百圓を減じ金融組合補助金二萬七千九百七十五圓釜山水道出資金五万圓印刷局支出金七萬圓法令布知費六千圓金銀補助金十萬五千圓清津雜居地經營補助金二千三百八十六圓海關工事費十九万七千七百廿一圓を增し差引四百五十四万二千四百廿二圓を減額せり

兇變と漢城民心

李總理遭難の報を得たる韓民は合邦問題の餘熖猶ほ熄まず人心恟々を極め居る際の變事なりしかば孰れも突嗟の推定を爲し是れ失敗地に塗れたる一進會の使嗾なりとて更に一層激昂の度を高め殘焔再び擧がらんとし其筋にては警戒怠らざりしも其後兇漢の系統及犯行前後の眞相漸く判明するに到りたる爲め昨今は却つて反對の現象を示めし彼の徒らに愛國を叫び社稷の危機を誘致せる排日派の妄を罵むと共に李總理に對しては不慮の難に遭遇せるを同情しつゝありと云ふ

徵稅と民心騷擾

寧邊財務署に於ては地方費中なる市場稅の徵收に着手したる處一般人民は同法の精神を解せず偏狹なる考へを以て全道同一時に徵收さるべきものなりと申合せ五六日前より各所に集合して種々謀議を凝らし居たるが一昨二十四日に至り數百名會合して形勢頗る不穩なるより同地警察は之れを抑制せんとしたる處却つて反抗の態度を取り一同は直ちに大擧して警察署に押寄せたれば警官必死となりて之れを退散せしめたるが是れを以て地方費徵收上に就き民心騷擾の第一なりといふ

李總理經過好良

李總理其後の容体に就き聞く處によれば手術後最も憂慮したる劇變を見ず体溫脈搏の如きも頗る平靜の度を保ちつゝありと經過幸にして意外に良好なり而して昨二十五日第二回の繃帶交換を施したるが格別の痛みを感ぜず又化膿等の徵候を呈せざるを以て主治醫も漸く警戒を緩むるに至れり尚は李總理の氣分は次第に快方に向ひ病を忘れて侍人に言語を交はしつゝある由

連累審問の進行

刺客李在明の連累者たる金貞益(一進會長李容九を刺さんとしたるもの)外三名の審問は伊藤檢事主任となり警視廳訊問係に於て晝夜兼勤取調べ中なるが金貞益のみは一應の審問終了し二十四日夜數名の警官に警衞されて京城監獄に送致され他は今尚ほ訊問係に在りて取調中なり而して李在明の連累者は今日の處六名の由にて二名は踪跡を晦ましたりと云ふ

曾禰統監の警戒

曾禰統監は伊藤公哈爾賓に兇刄に殪れ今又李總理の遭難あり暗殺は一時の流行となりたるの觀あるを以て曾禰統監には如何なる痴漢出るやも計られずとて嚴重に警戒を加へられつゝありと云へり

地方費の豫算額

地方費來年度の豫算額を聞くに慶尚北道の九萬圓を第一とし全道を通じ約六十萬圓にして之れを治道、勸業、教育の補助、罹災金、屠獸檢查等の順序に支出する筈なりと云ふ

●本年中學部の成績

△一月● 學部分課規程を改正して學務局の事務分掌を變更し第一課に於ては主として專門教育及實業教育を司掌せしめ第二課に於ては普通教育を司掌せしむ△二月● 學部官制を改正して編輯局の事務に教科用圖書の認可に關する事項を加へ又新に編輯官及編輯官補を置き並に主事の定員を增加したり△學部直轄學校及公立學校官制、學部直轄學校職員定員令を改正して新に判任教授を置き又漢城師範學校及平壤日語學校の定員を增加す△日本留學生補缺試驗を擧行して合格者九名に留學を命ず△三月● 教科書の內容に關する調查書を公にして教科用圖書審查の方針と現在の教科用圖書の缺點とを指摘して識者の注意を促す第二回教員檢定試驗を擧行して合格者四名に教員免許狀を授與す△四月● 新に實業學校令を制定頒布す普通學校令、師範學校令、高等學校令、高等女學校令及外國語學校令を改正して各學校に於て用する教科書に關する方針を變更す△官立平壤日語學校を改めて高等學校とし釜山に實業學校を設け普通學校を併置す△各道教育主任主事會議を開催す△五月● 官立仁川日語學校を改めて實業學校と爲す公立普通學校學徒に對する教科用圖書は給與の制を廢し貸與制を以て之れに代ふ△六月● 補助指定學校の撰擇を終り日韓人教員各一名を配置す△各道書記官會議を開催す△吏員を全國に派遣して學事を視察せしむ

●最良成績の徵稅區

度支部司稅當局者の語る處に據れば十三道中徵稅成績の最良なるは平安南北兩道他黃海道の一部分なるが就中平安道は他道に比しては乾田多く收獲上の都合により特に春秋二期に納稅せしむることとなり居れるが同地方は他道の滯納酷しきに似ず隆熙二年分の如きは殆ど全部完納となり尚は三年分も最近調查によれば他稅調定額百十一萬一千九百〇五圓にて六割に相當し他戶稅の如きも調定額十二萬圓中約五割九分の收納済となり殘分は何れも來年五月迄に終了すべき規定に對し如何に成績の善良なるやをトするに足るべし尚は度支部公報中一見同道の成績不良なるが如き觀あるは上叙二季收納の他道より殊異なる點を明記せざるによるものにして如上同道の一に徵稅上に對しても殊越せるは同地氣風の一班を覗知すべし

●清韓舊債金の授受

統監府及清國總領事間に交渉中なりし韓國舊債は先方の要求額四十五萬圓に對し彼我協定の結果三十五万圓に打切り解決したる事所報の如くなるが統監府は韓政府より該金の交附を受け昨廿四日午前十一時委員會を淸國總領事館に派し馬總領事との間に授受を了せり

●各道民籍調查進捗

各道に於て調查中なる民籍は目下七八分通り運びたるを以て來る二月頃迄には大体終了し三月迄には滯りなく完了すべしと云ふ而して今次の調查に就ては人民各自進んで之に應ずる等能く其精神を了解せる等の現象により豫想に反する好果を擧げ着々進捗し居れりと

●日本人主事の增員

內部に於ては地方行政刷新の目的を以て日本人の道及び郡主事を增員する爲め囊きに岡次官は之れが人撰の爲め東上したるが來年度豫算に道及び郡主事約百名增員に要する經費を計上したれば近々之れが任命を見るべしと云ふ

●小學校修業式擧行

京城民團立各小學校は昨二十五日より明年一月八日迄休業するに就き廿五日午前十時生徒一同を集め休學中の心得を訓諭し本年の修業式を擧行したり

●白國副領事の訪府

京城駐在白耳義副領事ピールブリエー氏は昨二十五日午前統監府に石塚長官事務取扱を訪問し一時間餘會談せり

●岡內部次官の歸任

久敷く東上中なりし內部次官岡喜七郎氏は今二十六日夜歸任する筈なりと

●諺文時事新聞發行

元內部衛生局長閔元植氏は今回時事新聞なるものを興し一月一日發刊する筈

●大東野乘出版

朝鮮雜誌社の朝鮮古書刊行會第二回(十一月分)の發行物として大東野乘第一冊刊行されたり体裁は同會第一回發行の三國史記と同じく四號活字にして句讀を付せられ何人にも讀み易く出來せり同書は朝鮮の野史類を大成したる珍本にして而も大部の書籍なるを以て容易に手にし難きものなり同會は統監府所藏の書籍を特に借り受けて刊行に着手したるものにして朝鮮研究者には又と得難き好資料なり原本は七十二冊なるを以て全部完結するには約十ヶ月を要すとのこと近來の大出版物なりといふべし

●仁川官衙御用納

仁川理事廳民團役所商業會議所其他の諸官衙は來る廿八日を以て御用納めをなすべしといふ

●小學訓導の昇給

京城民團立小學校訓導中第一小學校五名、第二小學校二名は二十五日付を以て昇給したりと

●羅南新聞の擴張

羅南新聞は今般日刊と爲す由にて數日前發會式を擧ぐ

●仁川稅關の休廳

仁川稅關は昨日クリスマスに相當せしより休廳したり

●年末の仁川稅關

仁川稅關は本月末日迄總ての事務を取扱ふべしとなり

坂神の韓國米豆

米は近頃便船毎に入荷增加の姿なれ共其大部分は外國輸出品にて他餘す處は阪神間精米所に引取られ爲に市場に貿物として現るゝ數は案外少なく從ふて相場も割合手堅く保合にて市場目先變動著しからず今其一斑を示せば

	錢		錢
木浦上	一〇、五〇	群山新特等	一〇、五〇
馬山改良	一〇、九〇	群山上	一〇、一〇
釜山改良	一〇、四〇	同 並	九、六〇
同 並	一〇、〇〇	仁川改良	一〇、三〇
平安道	九、四〇		
鎭南上	八、三〇	釜山秋上	七、五〇
仁川大玉	八、〇〇	同 並	七、四〇
仁川中玉	七、四〇	同 小玉	七、一〇
木浦	七、〇〇	元山上	九、〇〇
群山	七、三〇	同 並	八、五〇

大豆は目下高野筋需要多く取引中々頻繁なり昨今は輸入盛なれ共手から手へと直接取引かれ市場澁滯の案じもなく相場も追次昂騰の氣味なり是れ全く鐵嶺物品薄にして其代用盛なるによるべけれども鐵嶺物よりは品質も良く且つ割安なれば今後韓大豆の前途は益有望の觀に進みつゝあり

東拓の移民方針

東拓會社の移民事業は會社存立の最大要點なれば最も慎重の態度を以て目下頗ぶる調查中なるが移民規則の如きも既に草案を脫稿し居れるも未だ重役會の手を離るゝに至らず明春漁期の當時までには其の筋の認可を得て實行する筈なるが今其の方針に就き某重役の意見を聞くに渡韓せしむべき移民に貸付くる資金の如きは最も長期のものとし金利は最低の率を運びて飽まで之れを保護する方針の由にて最初は試に模範的の移民を渡航せしめて追々其の規模を擴大する筈なりと(京通)

●群山一年の輸出米

昨年十二月一日より本年十一月三十日までに於て全南群山より輸出したる米は實に四十七萬四千七百四十一叺にして之れを前一箇年に比し實に十七萬一千九百三十五叺の增加なりといふ

●雜貨卸商組合組織

仁川雜貨卸商組合なるもの今回新に組織せられたるが同組合にて仁川實業同志會殘務をも取扱ふ事に爲りたりと

平壤通信 (廿五日著 社)

▲舊貨回收に就て 舊貨使用期日も益々殘り少なとなりたるが韓國銀行平壤支店支金庫に納入せる本月一日より十日までの舊貨は三千百四十七圓六十五錢にして更に昨二十三日までの分を通計せば一萬三千九百八十一圓二十錢に達し即ち其後僅に十三日間にして殆んど一万一千圓近く回收したるは流石の韓人も期日短縮せるを感知せし結果ならん而して已報の如く度支部より各道に一名或は二三名宛回收の爲め吏員を出張せしめ當平南道にも一名出張し目下順安、順川、价川、肅川を巡回中なるが何分該各郡は回收場所即ち金融組合等なき爲め舊貨の流通多きを之れが回收に就ては意の如くならずといへり

▲雲母の採取事業

咸鏡道に於て雲母の發見せらるゝことは既報の如くなるが雲母は實に咸鏡道の大宗的特產物にして採掘出願者百二十名に達する程の勢なるを以て愈々同地に之が採取事業を專務とすべき日韓合同の株式會社を設立する事となり京城の兪吉濬氏は其十分の二、仁川の頭原氏は其十分の四、賀田金三郎氏は同樣十分の四を持つこととして結局同會社の資本金を三十萬圓とし重役は韓人側より三名、賀田氏の日本人側より三名、外に此の系統以外の秋田毅氏を夫々擧ぐることに定まり居り農商工部に於ても稀之々が爲に間接の力を盡しつゝあり來年一月匆々には創立の運びに至るべし

●杉山中尉の歸京

兇漢安重根の取調に關し久しく旅順に出張中の京城憲兵隊附杉山憲兵中尉は今明中に歸京の筈

●向田幸藏氏入京

京畿道警察部長の同氏は二十四日入京九州旅館に投宿

●白山靖氏の入京

憲兵少佐の同氏は昨二十四日入京山本旅館に投宿す

▲治外法權▼

時局問題研究會主催の政談演說會が延期になつた、聞けば其筋の命に因るとの事だが一體命はドノ筋から出たのだ▲記者は平常ならコンナ事に對するドノ筋の命でも排除するを至當と心得るがナニセ李在明なんど云ふ番狂はせが飛出して見ればコヽ暫くは延期の外あるまい▲不景氣〳〵と云ても此頃の本町筋は賑かなものだ、歲暮贈答品さては春の仕度等相當に賣行くらしい、買物に出掛ける女性中品の良い主婦らしい者の昨年一昨年に比して多くなつたのは事實である番頭曰く品の良い主婦らしい方はケチで困りますと閑人曰く此種の婦人容姿極めて揚りませんと、番頭閑人の云ふところ或は事實ならん而かも記者は此種婦人の增加を喜ぶ、何となれば品良き主婦の增加は健全なる家庭の增加を意味すればなり▲記者の知れる米人某博士某商店で大に買物をなし而かも一ト抱へある包を車に載せず擔軍にも負はせず親ら携へて歸る、見榮坊な日本人には此眞似が出來まい▲韓國政府來年度の豫算を見ると議すべき項目も無いではない、併し議して見ても効能が無さソーだからヨソー、只茲に一言を禁じ得ざるは學部の四十三萬圓は外國傳道會社が韓人教育の爲に費やす金の三分の一にも達せざることだ▲韓銀が大阪に支店を持たずに日韓貿易の爲に金融機關たることを得る筈がない、第一銀行を袖にしながら同行の厄介になるのは去つた女房の家に居候をするヨーナものである。



婦人方の羽織と訪問服

婦人の羽織で色合と云へば黒は若い方には好まれず先三十五六歳以上の方に用ひられ居る傾きがある若い方は矢張色物を喜ばれるが納戸風の色は廢り藤色又は鼠色にして衣服より多少濃き色が歡迎されつゝあり▲地質は縮緬と鶉縮緬とが第一で其他金紗鶉(普通鶉よりも綾の細きもの)若くは高浪縮緬に召金紗鶉召などが最も其勢力あり▲縞物にあつては衣服と同じく召縮緬が最も流行し次は大島紬である御召常着として米澤紬と秩父名仙類が勢力を有す紋は黒にあつては五つ紋若しくは三つ紋色物は三つ紋に限られて居り▲是等の裏地は一時緞子類が非常に流行して居つたが昨今では上等ものには友禪羽二重が主となり粋向には紋羽二重乃至は紋錦などがすべて美しく且つ着心よしとて盛に歡迎され居れり下では紋羽二重類無地八ツ橋綸子及甲斐絹なり▲次に御婦人達が知人を訪問するに縞物では略過るし紋附では余り厳めしく小紋類も面白からず是に就て何か適當な訪問服がなからうかと能く聞く所なるが地織れ召類の如きは先づ其嗜好に應ずべしと思はる▲尤も無地と云つても平無地でなく變化ある友糸で浮糸を織出したものか浮糸に縞を織つたものか乃至は段織と云つたやうなものや其他地に濃淡をつけ一見縞のやうに見ゆるものとか金紗縞と稱して處々に霜降りの見ゆるものなどと兎に角織方の變つたものゝ裾へ目立たない位の模樣を刺繍したものに友糸で紋を縫ひたるが宜しかるべし▲此訪問服の下着は無論同じ地質で模樣に至つては上下共に同じ模樣を刺繍せず上着に光琳の花模樣を縫ふとすれば下着には光琳の落款を置き上着に紅葉を散せば下着には水を描くとか櫻を縫ふと云ふ風が尤も配合美なるべく高尚向として目下漸く流行せる傾向あり但し粋を好まるゝ方には縞物の上に紋を附せず縫模樣を施したるものが頗る見榮ぬのするものとて歡迎されつゝ有

首相遭難と吊電

▲原因は通信の粗漏から

李總理の兇報一たび東京に傳はるや我が朝野は勿論東京駐劄外國使臣等は孰れも驚愕し次いで到る續報は生死區々にして一時は其何れが眞否に惑はしめたり然れども外交團は逝去の報を信じ各本國政府へ報告せしものゝ如く本國政府は韓國に對する訂盟國の誼を重んじ鄭重なる吊意を表すべく訓電し來りたる爲め在京外交團より統監府へ宛て吊電を寄せ來るもの續々ある滑稽を演せりといふ

太郎の血の雨

▲御機嫌だねが癪の種

去る廿二日夜の事なり大和町二丁目料理店君屋の板場宇野藏三(三七)なる者が同町料理店喜樂亭方に出刃庖丁にて殺害したる椿事あり事の起りは些々たる言葉の行違ひより生じたる者にして聞く處に依れば加害者藏三は同業の誼にて柴崎なる者を被害者なる吉三郎宅に板場として周旋なし居たるが此者等の慣として微醉の友欲しき折には再々喜樂亭に來りて右柴崎なる者を連れ出しては其處等の飲食店を飯み廻すにぞ主人吉太郎は嫌々迷惑に思ひ度々藏三に向つて柴崎を連れ出さぬ樣忠告したる事ありとなり然るに去る二十二日夜も例の如く藏三は一杯機嫌にて喜樂亭に至りたるに主人吉太郎は又々柴崎を連れ出されはせぬかと想ひ其の意味にて「今晩は大層御機嫌だね」と云ひしが藏三の氣に障り直樣吉太郎に食つて蒐りたるも同人は當り障らず其の場を外したるに藏三はムツとして同家を立出で數分後再び同家に立歸り一圓紙幣一枚を取り出して是にて飲せよと内儀に迫りしも餘り過しては爲惡しからんとて内儀の止むるをも聞かず銚子三本許を飲盡し徐々管を卷始め果は馬鹿の阿呆のと罵り騒ぐにぞ主人吉太郎も見兼ねて立出で茲に敗けず劣らず口論を始めしが幸ひ仲に入る人ありて一時は納まり藏三も宥めに服して立歸りたるが軈て五分間と過ぎぬ頃藏三は血相變へて再び喜樂亭へ驅け來り物をも云はず主人の居室差して飛び込むや油斷なし居る吉太郎が腹を眼蒐けて隱し持ちたる出刃庖丁にて柄も貫れと突込みたり此の騒ぎに内儀は驚き隣室の某に急を報じて被害者を介抱する間に藏三は逃亡したるが後に主家君家の溫突内に潜伏なし居る處を其筋の爲め逮捕せられたりと尚ほ被害者吉太郎の生命は到底覺束なかるべしとの事なり

離婚より再婚が先き

▲開進亭仲居の男狂ひ

旭町一丁目は理事廳裏當りの些やかなる一間住居に日毎喃々の痴語百態を差向ひで氣兼もなくやれ慾る食ひ附く惑の果てが中に挾んだ炬燵こそ飛んだ迷惑の灰神樂を起す事と餘り珍らしくもなしと云ふ惚れたか腫れたか頻る付の御夫婦者あり女はもと開進亭の仲居にて何子と呼ぶ齢も三十を二つ三つの油の乘つた年増盛り男はと云へば此も矢張り以前は同亭にて帳場を勤め居し某と云ふ色男なり抑も何子には年來添ひ遂げ來りし歴乎とした亭主のあるにも不拘所用の爲めに去る頃より夫が旅行の留守を幸ひつい出來合つたのが其の某と云ふ帳場なるが何を云ふにも野合仲の事とてウーのサーのも暫しの間三日見ぬ間の櫻の花は一夜の嵐に散り消せて今日此頃の雲行は兩者の仲の低氣壓と見た眼は寸分違ひなく切れる切れぬの口論いの初まりしはつい二三日前の事なりしが流石韓國の手廻し早く未だ其の相談の解決をも待たばこそ既に機釜の男とやらがのん/\酒アと何子の家に這入り込み先づ御祝言も水入らず鮭の切身が尉と姥是れで妾も一安心よと濟した何子の方の腕も凄いがぼい出され給ひし帳場殿こそ可い面の皮と申すべし

●年末の新町

新春を眼の先きに控ねた師走寒空の新町遊廓とても販ひ相な筈はなし先づ新玉の元日をれ樂しみとして置いて今月中の各樓水揚高は第一樓の八十五圓五十錢を頭に左の順序である

第一樓八十五圓五十錢、大桝屋五十六圓十錢、高島家五十三圓五十錢、南山樓三十八圓十六錢、清月樓三十七圓二十四錢、玉家三十二圓二十錢、第一樓支店三十二圓十五錢、京城樓三十一圓、皆春樓三十圓十錢、井門支店二十四圓八十八錢、清進樓二十四圓十五錢

計四百四十四圓九十八錢とは心細い

●奸商の檢擧

仁川牛角洞居住の李宰求と云ふは本月十五日頃より官許陸來穀物調査部なる看板を掲げて仁川に廻着する穀物に對し幾千かの問屋口錢を騙取し居りたるを一昨日仁川署員に發覺され看板諸共同人を本署に引致取調中なり

●京城の基督教會

旭町四丁目京城日本基督教會今日曜日の集會は午前九時より日曜學校午前十時より禮拜說教石原牧師の「明治四十二年を送る」午後七時より傳道說教同牧師の「歳暮の所感」▲日の出町京城基督教會にて午前九時日曜學校同十時禮拜說教米澤牧師の「聖靈の標象」あり因に夜の說教はクリスマス祝會の爲め休會

●吉野小次郎死す

目下壽座に立籠れる新派伊東文夫一座の立女形吉野小次郎は二十五日午前二時安東病院に於て肺臟症に罹り死去したり、同人は伊豫宇和島の生れにして早くより俳優となり八年以前伊東の配下に加はり今日迄繼續したるが數年前より鉛毒に惱み居たる處此程釜山興行打揚後當地に乘込む際に當つて前記肺臟症に罹りたるものなり同人の得意は鶴龜、元祿踊り松風村雨の幸子、潮の妙子等にして曩きに當地にて是等諸役を演じたるが御名殘りなりし、尚ほ伊東一座は是れが爲め年内は休演し更に新進の女形を内地より呼寄せ一月一日より改めて開演する筈なりと

●千代松の仕替へ

新町玉家の抱ね藝名千代松事中尾ちよは都合あつて百七十五圓の前借金を仕拂つて龍山桃山遊廓の玉川樓へ仕替したり

●一昨日の敷島

遊廓は遊客四十五人にして消費高は百三十八圓六十七錢なりき

●小政の鞍替へ

仁川敷島遊廓日進樓の小政は一昨日龍山桃山に鞍替せり

五千二百圓の豫算なりといふ

▲關東浪花節大會

二十五日より三日間大阪角座に於て京山恭安齋連中四十餘人の大寄あり各々美くしい咽喉を聞かせる筈なるが其の顔振は即ち下記の如しと云ふ

伊勢吉、花丸、友春、虎造、千代、勝時、好丸、常春、鶴圓、奈良女、富右衛門、風月、小奈良、愛昇、恭一、恭爲、光治、友虎、正司、雪峯、呂虎、梅壽軒、登久丸、虎春、若丸、米若、團朝、鶴治、奈良丸、南昇、寧助、小音丸、小寅丸、愛三、菊治、菊春、如雲、榮安、燕平

▲主計官の橫領罪

元第六師團經理部附三等主計熊本縣鹿本郡山鹿町大森茂樹(三四)と云ふは主計學校出身にて昨年十二月廿五日三等主計に任ぜられ本年四月韓國駐屯軍步兵第二十三聯隊附主計として赴任勤務中上官の目を盜め官文書を僞造變造して同隊の酒保の貯蓄金二千餘圓を橫領費消し其後第六師團經理部留守部附となりたるが此程に至り其罪蹟發覺し憲兵隊に檢擧され軍法會議に於て取調中なりし處一昨二十一日橫領附隨文書僞造文書變造の罪名にて懲役三ケ年に處せられたり

▲田中前宮相別莊

小林孝子との結婚一條につき艶名を唱はれたる田中光顯伯の別莊は靜岡縣岩淵町なる富士川の西岸の上に在りて此程落成したるが眺望の佳なる比類稀なり工費數十萬圓、床下の高さ六尺と云ぞ以て其の宏壯なるを察すべし、伯は去る廿一日午後地方の名士を招待して披露の宴を張りたり

各地の新聞

▲幸運な親子五人

博多上呉服町呉服尋常小學校より二三軒濱手町並の家屋にて二軒續きのものを半分だけ取壊ち立替中廿三日朝午前五時頃突然殘りの半分潰倒したれば屋内に就寢し居たる親子五人の者は無慘の壓死を遂げしならんと附近の者寄つて蒐つて木材屋根瓦等取除けに取懸りし所下より「靜にやつて呉れ」と云ふ聲聞ゆしかば景氣付き離する方の障害材木を取除け扱は五人の内に無事なる者ありと一同たるに是は亦幸運にも五人中一人の死者は勿論輕微の負傷者さへ無きより双方歡喜の聲を揚げ無事を祝したりとはめでたき事共なり

▲寄席相生座新設

博多部にては從來雄鷹座、舞鶴座、川丈座の三寄席ありしも雄鷹座は大道路開鑿の爲め解崩しとなり舞鶴川丈兩座共東中洲の地にありて博多の中央に一の寄席なきより別に一席を設くべしと同好者は寄り/\相談中なりしが愈々冬屋町相生券番通り行當りに新設するの計畫を定め廿三日其筋に出願したるが座名は「相生座」にて入場人員四百四十八工費

吉凶

本町五丁目 三一館判

十二月廿六日舊十一月十四日三碧赤口 庚申成△一白 旅行及遠方に對して取組取引の事効果あり盜失散財防くべし△二黑 取引金品授受に紛紜起らん色情娛樂に耽溺する勿れ△三碧 中傷陷濟にあふ勿れ音信異事を報ずるあり總じて不寧の日とす△四綠 利益若くは快事あり壯者は色情痴情を愼しむべし△五黃 人のために己れを損する事あり從者家族のため煩累あらん△六白 賣買貸借取引上紛爭多し人より咎又は疑にあふあらん△七赤 誘引勸奬に傾注する勿れ交際上損失を蒙る勿れ△八白 非運たり新事見合せの事旅行談合依賴等効なし△九紫 誘惑及詐害行爲防ぐべし其他康寧の日なり

十二月廿七日舊十一月十五日四綠先勝 辛酉納△一白 取引賣買貸借紛紜起らん保證引受の煩を避くべし△二黑 破却の日なり共同組合婚姻の事談凶紛失防ぐべし△三碧 開店業入學門及旗樣替方針替凶爭論紛擾を戒しむ△四綠 衰頹の日なり新事見合の事紛失盜害を防ぐべし△五黃 相談依賴等効なし取引間違を生じ易し近親の事に煩累あり△六白 不如意の日なり新事及變更凶爭論衝突防ぐべし△七赤 艱難の日なり家庭内及近親の事につき煩累あり取

[illegible]務上に付き斷絶逆行以て破却あり模樣替方針因△九紫 旺盛の日なり大抵の事吉證券印章の事留意すべし



京城聯合繁榮會[illegible]及收支豫算左の如し

一、事務所 本組合の事務所を京城日本人商業會議所に設く
一、賣出期間 自明治四十二年十二月一日至同年同月三十一日
一、抽籤期日 明治四十三年一月七日事務所に於てす
一、景品取替期間 自明治四十三年一月八日至同年同月三十一日
一、抽籤の數總 六十万枚限りとす
但し前記期間中に不足を生じたる時は別途に十万枚を發行するものとす
一、景品劵一枚を二錢五厘にて加盟者に引受け賣出しに係る添物とし物品購求高金五十錢毎に一枚を贈呈するものとす
但如何なる名義を以てするも賣買讓與進呈等を爲さゞるべきものとす
一、景品目錄左の如し

第一等	三千圓	一本(勸業及貯蓄債劵)
第二等	一千圓	一本(同)
第三等	五百圓	一本(同)
第四等	二百圓	一本(同)
第五等	一百圓	一本(同)
第六等	十圓	六十本(商品劵各商店分)
第七等	一圓	三千本(同)
等外	五厘	五十四萬六千九百三十五本(五厘切手)

一、景品劵增加處分 以上の外景品劵拾萬枚の增加なしたる場合は前記割合にて第七等一圓を五百本と等外五厘を九萬九千五百本を增加する者とす
一、抽籤方法 勸業債劵抽籤方と同樣として各新聞社員一名宛、京城在住有志者五名並に場所の許す限り一般居留民の立合を許すものとす
追而許可を得たる上は警察官の立會を求む
一、抽籤の結果 加盟者が假に景品劵五千枚を引受け賣出に係る物品購求高金五十錢毎に一枚を贈呈し其結果四千枚を贈呈し一千枚の殘餘を生ずるときは加盟者に全部引受くるものとす就ては其殘劵中に抽籤の結果該第一等より第七等迄の抽籤相當したるときは加盟者は全部立會人たる警察官、各新聞社員、京城有志者等の協議を經て公共事業に寄附するものとす
一、本組合事務所にて發行劵の殘額劵を生ずる共全部各加盟者に引受け聊かたり共右景品及び豫算書の收入には異動せず
一、廣告 抽籤の結果當籤番號及決算は京城各新聞紙上に廣告するものとす

右京城理廳認可濟

一、抽籤立會委員左の如し

京城居留民團長 古城菅堂殿
京城居留民會議長 和田常市殿
京城日本人商業會議所會頭 中村再造殿
京城居留民會議員 山口太兵衛殿
同 大村保太殿

京城聯合繁榮會委員

池田長兵衛 西崎嘉七 岡野藤三郎 大上友太郎
建部喜三郎 山下新太郎 久保田虎助 町田文次郎
渡邊中齋 進辰馬 唐川立造 松浦源治
前田熊市 池田作之助 山邑酒店 久保田虎次郎
鍋島宇吉 藤木利右衛門 二宮松太郎

收支豫算表

收入之部

一金	一五、〇〇〇、〇〇〇	景品劵六十萬枚代

支出之部

一一、三九九、六七五	景品總額	四〇〇、〇〇〇	印刷費
六〇〇、〇〇〇	旗五百枚代	一五〇、〇〇〇	旗竿代
四〇〇、〇〇〇	提灯一千個代	八〇〇、〇〇〇	新聞廣告料
六〇〇、〇〇〇	事務所費	四〇〇、〇〇〇	總會費
三〇〇、〇〇〇	事務員五名手當	二〇〇、〇〇〇	抽籤品購入費
一〇〇、〇〇〇	抽籤當日費用	五〇、三二五	諸帳簿費

計 一五、〇〇〇、〇〇〇

前各項に付御不明の點あらば最寄委員へ御問合ありたし

京城聯合繁榮會事務所

新題模様

（新年の雪）ふくさ

歳暮御進物用適當品荷着

明治町一丁目
電話千四百九番
丸ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社（四九〇）

●望勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生（四九三）

年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻縁二階六疊二間廻縁井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●電話讓渡たし 氏名在社（四九六）

電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

廣告

滿 京城本町五丁目 乳 化粧液 電話四七七番

精密を旨とし大勉强仕候也

宮内府御用
博物舘

古今美術 書畫表裝
金銀屏風襖洋式天井張

壽町二丁目

表具 松月堂
電話千〇〇三番

◎牛乳（純良 消毒 檢查濟）

韓國畜產株式會社

南大門外（電話八八番）

植島牛乳店
永樂町二丁目赤門前

御酒一合 壹本 金五錢
御鋤焼一人前 金五錢
牛乳 四八五

電話開通 壹四八五

滋養大勇乳 衛生牛乳搾取場



●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

美術書畫
襖、壁、天井張

京城壽町一丁目
桂萬吉

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
巻紙封筒手帳類
帽子洋傘靴
洋服附屬品一式
メリヤス類
毛布膝掛馬車一式
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンケチ
手袋沓下貸物類

正札一引なし

官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番

和洋雜貨卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

仁川 河合寫眞館 京城支店

十二月二十日開業
本月中は三割引
京城本町四丁目（電話一二六九）
仁川仲町二丁目（電話二〇〇）

電話開通 一三九四番

鋤焼 御一人前 金二十五錢

此の外何んでも輕便と安直とを以て御客樣には極て叮嚀に親切に御つとめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候

京城北米倉町
會席御料理 花の家

▲忘年 新年 宴會は梅の家に限る▼

どんな少數の御宴會でも丁寧に何程多數の御宴會でも狼狽のなきことは梅の家の獨擅ですから取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に氣樂に召上られます樣一層御つとめ申上ますから御光來の榮を賜り度御願申上ます

大和町三丁目（電話七三五）
御料理 梅の家

京城聯合大賣出し

歳末に際し顧客各位の盛運を祈り且平素の眷顧に酬ゆると共に市の繁榮を圖らんが爲十二月一日より同三十一日迄左記の方法に依り全市聯合大賣出しを開催致候間左記の目標を掲げある加入各店にて御買入被成下度此段奉願上候

加入店目標



景品

一等 金三千圓（債券）
二等 金一千圓（同）
三等 金五百圓（同）
四等 金二百圓（同）
五等 金一百圓（同）
六等 金五百圓（各店商品切手五拾本）
七等 金二千五百圓（各店商品切手貳千五百本）

以下空籤なし

御買上金五十錢毎に景品券一葉進呈仕候

賣出期間 明治四十二年十二月一日より同三十一日まで
抽籤期日 同四十三年一月七日 京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上
景品引替期日 同一月八日より同三十一日迄

京城聯合繁榮會（京城日本人商業會議所内）

明治廿年七月創立● 資本金一千萬圓●

東京火災 海上運送 保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

電話開通 千參百八拾貳番

南大門通光宣門側
待合 紅葉

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合 醉月
電話二一六五番

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然
◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

齒科治療

本町六丁目
ドクトル 中村安子
（數そば横町）

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目
（電話二一五一番）

和洋酒、國精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食品、荒物各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓

京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
（電話四二〇）

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
濟韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社 日本郵船 廣告

仁川出帆 電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 一月十五日後三時出
●大連、行
高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 一月 三日午前六時出
●大連行
酒田丸 一月 三日正午時出
●釜山出帆 元山、濟津、浦鹽行
立神丸 十二月廿九日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事